

【樹木・草花の部屋】

ルピナス（マメ科ルピナス属 *Lupinus*）

和名；ルピナス **別名**；ノボリフジ、タチフジ **英名**；

マメ目 一年草・宿根草

原産地；

花言葉；あなたは私の安らぎ、いつも幸せ、空想、想像、母性愛、いつも幸せ、空想、想像
母性愛

花の色；紫、白



← **写真－1** ルピナスの花

撮影日：2006年6月20日

撮影場所：ノルウェイ バールダール
ガイランゲルにて

撮影者；Mさん

ガイランゲルフィヨルド／ノルウェイの農家を訪問した際、庭先に咲いていました。

写真－2 ルピナスの花 ⇒

撮影日：2008年5月28日

撮影場所：イギリス ウェールズ
ボトナント・ガーデンにて

撮影者；Mさん

イギリス北部のボトナン・トガーデン散策中に見かけました。雨に濡れたルピナスは綺麗でした。ニュージーランドでもアチコチで見かけた花。勿論、日本でも見かけますが・・・。



【樹木・草花の部屋】

<ちょっと一言>

なにせ、高温多湿に弱いため、管理が大変ですが・・・。

別名、ノボリフジ・・・。フジの花が下から上に向かって咲いているような姿から来たそうです。写真を上下逆さまにしてみれば・・・。

ルピナスという名前はラテン語で狼を意味するルプスに由来。やせた土地でも堂々と侵入し、土地を荒廃させる植物と考えられおり、それを狼に重ね合わせたためとされていますが、はっきりした根拠はありません。

が、たしかにノルウェイやニュージーランド（南島）はもともと、氷河に覆われていた場所がら、痩せた土地が広がっている地域です。岩盤が剥きだしの景観を目にします。北欧の美しい緑の森は、わずかな土の上に生育しているそうです。

一方ではルピナスの豆は苦く、噛んだ人が苦虫を噛み潰したような表情になることが、その根拠であるという方も・・・。

花後に枯れる一年草もしくは二年草、毎年花を咲かせる多年草、低木になる種があるそうで、基本的に高温多湿に弱く、園芸では多年草タイプのものも一年草として扱うことが多いです。秋にタネをまいて翌年(もしくは翌々年)に花を楽しむ秋まき一年草(二年草)として栽培するのが一般的だそうです。